

グローバル「町衆」プロジェクト

～21世紀社会に求められる協働的な活動による高度な思考力の育成を目指して～

岡山県立倉敷南高等学校

1 全体計画



2 キャリア教育における体験的な取組の紹介

(1) 学校（学科）の特色

創立42年目の単位制普通科高校で、「自律・友愛・進取」の校訓のもと、国際化する社会に貢献、活躍できる人材の育成を教育目標とし、学力向上とキャリア教育を大きな柱に据えて教育活動を行っている。キャリア教育については、平成19年度から3年間、文部科学省「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」に取り組み、平成20年度に学校設定教科「キャリア」を新設した。平成25年度から「倉敷町衆プロジェクト」を立ち上げ、3年間を見通したキャリア形成のためのカリキュラム開発に取り組み、平成27年度は、グローバル人材育成のために、海外研修・国際交流事業を充実させ、学力向上方策としてのアクティブ・ラーニングに積極的に取り組んでいる。

(2) 探究学習（課題研究等）について

①目的

体験的学習を通して課題発見・解決力や思考力、人間関係形成力、社会参画力などの実践力を養い、グローバル社会において、郷土倉敷・日本への理解を深め、異文化を尊重し、多様な価値観に柔軟に対応できる志と能力を身に付ける。

②校内体制


年次	主な行事	教育課程上の位置付け	企画・運営	実施担当
1年次	フィールドワーク ラーニングカフェ	総合的な学習の時間	キャリア教育支援室	クラス担任
2年次	課題研究 ポスターセッション	学校設定科目 「キャリアⅠ」	キャリア教育支援室	講座別担当者
3年次	ディベート大会	総合的な学習の時間	3年次団	クラス担任

③主な内容

(1年次)

行事名	ラーニングカフェ	フィールドワーク
実施日	平成27年7月23日	平成27年7月27・28日（どちらかの日に参加）
人数	144人	176人
形態	町衆連の方1人に対して生徒9人が車座になって、仕事や進学についての会話をします。	市内の施設を訪問して話をうかがい、インタビューを行う。
連携先	天満屋倉敷店、トマト銀行、菅公学生服、クロセ設計事務所、みずしま財団、倉敷ファッションカレッジ、倉敷市保健所、倉敷市企画財政局、リクルート、ライフパーク倉敷、倉敷青年会議所（主に倉敷商工会議所を通じて依頼）	倉敷市環境学習センター、クラブン株式会社、NPO法人倉敷町家トラスト、倉敷アイビースクエア、倉敷まちなか居住「くるま座」有鄰庵、ほうりん倉敷本店、倉敷市保健所、瀬戸内エンジニアリング株式会社（主に倉敷商工会議所を通じて依頼）
生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の生徒で大人と話すのは、とても緊張したし、難しかった。それでも、楽しい雰囲気の中で一生懸命話を聞くことができた。 ・社会に出て必要な力や困難の乗り越え方について多くのことを学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと職業について、自主的に調べて、より多くの仕事についての知識を増やしたい。 ・どんな仕事でもその仕事で1人ひとりがprofessionalになることが大切だと知った。 

(2年次)

科目名	学校設定科目「キャリア I」	
実施日	通年開講、週 1 単位	
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題研究 (4 ~ 1 1 月) ・ 事業所訪問 (1 2 月) ・ 仕事の達人講義 (2 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターセッション (1 1 月) ・ 大学学部別講義 (1 0 月)
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「仕事の達人講義」は岡山経済同友会、倉敷商工会議所等に、「大学学部別講義」は岡山大学を中心に講師派遣を依頼 ・ 「事業所訪問」は個別に依頼 	
具体的内容	<p>○課題研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開講講座：社会科学（法律、経済、国際）、人文科学（日本文学、外国語、芸術）、教育学（教育）、医療福祉（医療保健、福祉）、自然科学（理学数学、理工学物理、理工学化学、環境生物） ・ ポスターセッションに向けてグループもしくは個人で課題を設定し、研究を行う。 <p>○ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題研究の内容をまとめ、ポスターを利用して発表 ・ ポスターセッション（各教室）と公開ポスターセッション（体育館） ・ ポスターセッションには 1 年次生及び保護者が見学及び参加、公開ポスターセッションには、大学関係者、地元企業経営者、外国語指導者 4 名がパネラーとして参加 ・ 平成 2 7 年度は英語による発表も実施 	
発表例	<p>少年法 6 1 条の現状—実名報道の在り方— (法律)</p> <p>源氏物語と現代の結婚の違い (日本文学)</p> <p>これからの幼稚園—少子化を食い止める— (教育)</p> <p>スポーツ栄養—試合に勝つために— (医療保健)</p> <p>ハニカム構造の強度の研究 (理工学物理)</p> <p>What is debate?—Let's make friends!— (外国語)</p>	

④成果

フィールドワークやラーニングカフェ（1年次）、「キャリア I」での関係機関・事業所訪問や仕事の達人講義等（2年次）に関しては、実社会で活躍する大人とのやりとりが、倉敷を知り、社会貢献への思いを強くし、そのことが思考力、実践力、コミュニケーション能力を総合的に高めるだけでなく、平素の学習や進路選択に積極的に取り組む意欲である「学びの志」の涵養につながった。

⑤今後の課題

- ・ 2年次「キャリア I」における探究型学習においては、約 3 0 名が成果発表を英語で行ったが、プレゼン後の質疑応答等で英語での表現力不足が見られた。日頃の授業等で英語での発表を増やし、発信力を向上させる指導が必要である。
- ・ 海外研修については、日程、募集方法以外に、現地でのインターンシップ等、内容の充実が課題である。また、この研修での学びを 1 年次での町衆プロジェクト、2 年次「キャリア I」における課題研究等、キャリア教育の流れに落とし込む工夫が重要になる。